

始良市ホームページ【令和6年3月公表】

始良市／令和5年度 鹿児島学習定着度調査の結果公表

1 鹿児島学習定着度調査について

令和5年度鹿児島学習定着度調査について説明します。

(1) 調査のねらい

学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識などの学習状況、学校の取組状況を把握する。

また、各学校に全県的な傾向との比較・分析などを通じて、自校の課題を明確にさせ、問題解決的な学習活動を取り入れるなど教員の指導法改善を図るとともに、児童生徒の学力向上を図る。

(2) 調査対象

小学校第5学年、中学校第1学年、中学校第2学年

(3) 調査内容

小学校第5学年 国語、社会、算数、理科、児童質問紙

中学校第1学年 国語、社会、数学、理科、英語、生徒質問紙

中学校第2学年 国語、社会、数学、理科、英語、生徒質問紙

(4) 実施日

学力調査 令和6年1月16日（火）、1月17日（水）

学習状況調査 令和5年11月20日（月）～12月15日（金）

2 鹿児島学習定着度調査の結果概況について

令和5年度鹿児島学習定着度調査の結果について概況をお知らせします。

(1) 学力に関する調査の結果概況と分析

ア 小学校第5学年（数値は、平均正答率、％表示）

	国語			社会			算数			理科		
	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現
市平均	71.4	82.4	63.7	70.4	69.4	72.4	77.2	75.4	79.5	78.6	81.0	75.6
県平均	68.5	80.1	60.4	65.3	64.6	66.6	74.6	73.3	76.2	75.4	77.6	72.8

イ 中学校第1学年（数値は、平均正答率、％表示）

	国語			社会			数学			理科			英語		
	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現
市平均	78.7	75.9	81.6	56.8	53.1	64.2	73.4	79.6	64.9	65.5	67.9	61.6	78.2	79.2	76.9
県平均	75.9	74.1	77.6	54.4	52.9	57.3	74.3	80.2	66.2	66.3	69.5	60.5	77	78.1	75.4

ウ 中学校第2学年（数値は、平均正答率、％表示）

	国語			社会			数学			理科			英語		
	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現	全体	知識 技能	思考 表現
市平均	66.4	62.4	69.6	58.1	56.4	61.7	68.0	75.0	55.0	63.7	74.8	50.8	73.2	72.2	74.8
県平均	65.6	62.6	67.9	62.3	60.6	65.5	68.8	76.0	55.5	66.9	77.7	54.1	71.4	71.3	71.3

エ 結果の分析

- ・ 小5は、全教科で県平均を上回っており、本市の小学校児童の学力は高いと考えます。
- ・ 中1は、国語・社会・英語が県平均を上回っているものの、他教科は下回っており、課題があると考えます。
- ・ 中2は、国語・英語で県平均を上回っているものの、明らかに下回る教科もあり、大きな課題があると考えます。

(2) 学習状況調査の結果概況と分析

調査結果の中で、特徴的な内容は次のとおりです。

- ・ 小学生は、授業が分かりやすいと考えている児童の割合が大きい。
- ・ 中学生は、授業が分かりやすいと考えている生徒の割合が小さくなり、わかりにくいと考える生徒の割合が大きくなる傾向にある。
- ・ 小・中学生共に、自分たちで考えたり話し合ったりする授業や、自分たちで調べて課題を解決する授業にやりがいを感じる児童生徒の割合が大きい。

(3) 今後の取組

本市は、「学力向上アクションプラン推進事業」を中心に、各中学校ブロックを単位とした共通実践、研究授業を通じた研修会の実施など、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組を推進しています。

今回の鹿児島学習定着度調査の成果や課題の分析を踏まえ、学力向上アクションプラン推進会議で来年度の取組の重点の確認を行い、各校では、自校の成果と課題を明確にし、実態に応じて重点取組内容を具体化して、学力向上の取組を進めています。今回は、特に課題の大きかった学年や教科については、県の平均と比較して正答率の低い問題を中心に具体的な指導や繰り返しの復習等を行い、身に付けるべき力を確実に付けて次の学年へ進めるよう取り組んでいます。

3 家庭・地域へのお願い

本市の「学力向上アクションプラン事業」においては、授業における学びを支える基本的な学習習慣定着のための共通実践事項として、「学習の構えの確立」「学習環境の整備」「家庭学習の習慣化」を掲げています。

学習習慣の定着のためには、落ち着いた心で学習に臨むことができる環境づくりや、学びの意欲を高める働きかけとともに、家庭学習の習慣化が大切です。各家庭では、低学年の時から家庭学習にしっかり取り組めるよう環境を整え、子どもたちのがんばりを認めることを中心にしながら、粘り強い声かけや励ましをお願いします。(4月当初に学校から配布される「家庭学習の手引き」を参考にしてください。)

子どもたちが将来の夢や希望に向かって努力できるよう、引き続き、学校・家庭・地域が協働した支援や働きかけをよろしくをお願いします。